

古賀市立古賀東中学校
こ ち ぎ つき
東風の阜月
学校通信6号

令和4年6月3日(金)発行
校長 柴田 重法
3年生 141名
2年生 100名
1年生 138名
全校 379名

回覧用

体育会での学びを生かした学校生活へ！

体育会では自分たちの力で創り上げた喜びと経験から、自信をもって活動できる姿が見られるようになってきました。5月の後半は、体育会モードから通常生活への切り換えの時期で、6月、7月の学校生活の基盤づくりとなります。先生方の工夫で、体育会から学んだことを生かした教育活動が随所に見られました。ブロック制による異年齢集団の活動は、上級生は上級生としての自覚を、下級生は上級生への憧れから東中の一員であることの誇りをもって行動ができるようになりました。

5月17日(火) ひまわりの種を植えました



古賀市人権センターより頂いたひまわりの種を2年生の整美委員と有志の仲間で校門の入口に植えました。

「ひまわり」は古賀市の人権の花であり、花言葉は「あなたはすばらしい」という意味です。

現在も戦争をしている国があり、多くの人が苦しんでいます。世界の人々が安心して心豊かに暮らせるようになることを願ってひまわりを育て、命の大切さや相手の思いやりの心を育てていきたいと思ひます。



5月18日(水) 図書館に50冊の本が寄贈されました

図書館に、特定非営利活動法人「子どもパートナーズ HUG っこ」から、本が寄贈され、図書館や学級文庫として大切に読まさせていただきます。



図書委員会では、5月23日(月)から6月3日(金)までの2週間を「菜の花読書週間」として、図書館の来館者を増やす取り組みをしています。また、6月20日(月)から7月20日(水)まで「カタツムリ読書月間」として、梅雨の時期に外で遊べない人たちが図書館に来館できるようにイベントを行っています。寄贈された本もおすすめのブックとして紹介していきます。



5月18日(水) 3年生の先輩方にお礼の言葉を伝えました



体育会が終わり、これまでブロックのリーダーとして取り組んでくれた3年生の先輩方に、1年生の学級代表生徒が感謝の気持ちを伝えようとメッセージカードを手渡して、お礼の言葉を述べました。

その場面はとても心暖むもので、古賀東中学校生の絆が一段と深まったように見えました。

3年1組の先輩方にお礼を述べた、1年1組の代表である日高 芽咲 さんの言葉を紹介しします。

3年生の先輩方、私たちのために大切な時間を使って、一生懸命にご指導いただきありがとうございました。先輩たちのがんばっている姿はとてもカッコ良かったです！ おかげで、私たち一人一人が輝けて、思い出に残るすてきな体育会になりました！ 私も3年生になったら、先輩方のようにカッコいい3年生になって体育会を盛り上げます！ 本当にありがとうございました！

大きな拍手で教室は埋め尽くされました。

5月23日(月) 第1回避難訓練を実施しました

地震や火事の緊急事態時に、身の安全を守り迅速に避難できるように注意事項を学習し、地震発生からの火災を想定して実施しました。

避難開始からグラウンド集合
点呼確認・報告まで

4分57秒



終了後、防災担当の阿部先生より講評を頂きました。避難訓練では、1秒遅れることが命取りになってしまいます。今日の訓練では、全ての報告が完了し、みなさんの無事が確認できるまでの時間は、4分57秒でした。昨年が5分丁度だったので、昨年よりも意識を高くもって行えたと思います。

訓練だからと言って、いい加減にやったのでは、いざと言う時に間に合いませんので、訓練であっても真剣に取り組まなければなりません。今回は、とても素晴らしい姿で取り組んでいる人が多かったと思いますが、課題も残りました。放送が鳴った時に素早く身を隠すことができていましたが、頭が机から出ている人がいました。放送中や避難中に私語や笑い声があったのが少し残念でした。

さて、自然災害や火災から命を守る一番簡単な対策は、避難することです。そして、自分の身は自分で守るということが大事です。しかし、「避難」するということは、とても勇気のいる決断です。その決断によって自分の命も周りの命も救うことができます。自然災害は人間の力ではどうすることもできません。自然災害からは逃げるしかありません。この訓練を機に、「自分は大丈夫だ」という過信を捨てて、命を守るための行動をとるようにしましょう。



5月23日(月) 体育会での学びを授業に生かしています

2年生の国語科の授業で、「体育会で学んだことから今後の決意を語り合おう」という授業が行われました。今回学んだことをどのようにこれからの日常生活に結びつけていくのか、どんな最上級生をめざしていくのかなど、自分の考えや思いを漢字一文字に託してスピーチを行いました。

2年生の皆さんそれぞれの学びを今後の自分の成長に繋げようとする思いが伝わってきました。ぜひ、3年生の先輩に負けない最上級生になって、学校を牽引してほしいと期待しています。

2年2組の 岩崎 瑠香 さんのスピーチを紹介しします。

私が選んだ漢字は勇気の「勇」という漢字です。皆さん頭の中で思い浮かべてください。体育会で何を学びましたか。いろいろなことがあると思います。私は全員で「がんばる」ということを学びました。みんなで協力するっていうのは、うまくいったらすごく楽しいことだけど、難しいことでもあると思います。だからこそ、一人一人が真剣に友だちと助け合って、リーダーが指示を出しやすい環境をつくっていくことをみんなでがんばる必要があるのだと改めて感じました。

来年は、私たちが体育会を創っていく番になります。そこで私は、周りがよく見える先輩になりたいと考えています。困っている友だちのことに気づいて助けられるような、そんな周りに気を配れる優しい人になりたいと感じています。



そのために必要な事は何かと考えてみました。「周りをよく見る力」、そして「気づく力」だと考えました。だから私は、これから周りの友だちが困っていたり元気がなかったりしていることに気づいて、声をかけるようにしていきたいと思っています。私は今年、周りに気づくアンテナを育てて、声をかける勇気を出すことを誓います。

5月25日(水) 中体連・中文連に向けてマナーチェックを行いました

中体連や中文連等の大会やコンクールに向けて、古賀東中学校の代表として誇りをもち、多くの方から応援したいと思えるようなチームをつくってほしいと願っています。

6月15日の陸上競技大会を皮切りに糟屋区大会が始まります。3年生にとっては最後の中体連や中文連となりますので、悔いの残らない大会にしてほしいと願っています。

そのために、私から心にとめてほしいことが二つあります。

一つは、「試合は練習から始まっている。」ということです。それは練習の中で、「これが本番の試合だったら」ということを想定して行うことです。練習では失敗してもやり直しができますが、本番ではそうはいきません。集中力と緊張感をもってワンプレーを大切にしたい練習に取り組むことで、結果につながると思ひます。

二つは、「古賀東中学校の代表生徒である。」ということです。勝ち負けだけにこだわらず、古賀東中学校の生徒である誇りをもって、東風魂四訓を身に付けた爽やかな姿を試合会場でも見せてください。

これから益々練習に力が入ると思いますが、コロナ対策、熱中症対策をしっかり行って、皆さんのがんばりが結果として結びつくことに期待しています。



おさない



かけない



しゃべらない



もどらない

